

■■認定校だより【関東職業能力開発大学校】■■



<関東職業能力開発大学校の概要>

関東職業能力開発大学校は、「職業能力開発促進法」に基づき、国（厚生労働省所管）により設置された 専門課程 2 年+応用課程 2 年の工科系大学校です。

<関東職業能力開発大学校 応用課程建築施工システム技術科>

建築施工システム技術科は木造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造等の代表的な建築施工に関する技術・技能や施工管理能力を養うことにより、施工計画やその計画に即した現場での施工管理を担当できる高度な実践技術者の育成を教育訓練目的としています。

<カリキュラムの特色>

1 年次(4 年制大学 3 年次に相当)から 2 年次(4 年制大学 4 年次に相当)にかけて、応用課程の教育訓練システムの特徴である、(1) 実学融合方式、(2) 課題学習方式、(3) ワーキンググループ学習方式を採用したカリキュラムを編成しています。専門科目の他に、標準課題として、木造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造について、設計図書の理解から施工図・施工計画の作成、施工管理までを習得します。

卒業に向けて、2 年次には応用課程の集大成として、開発課題（総合施工・施工管理課題実習）に取り組みます。建築生産の現場が直面している、合理化・省力化・低コスト化・高品質化、あるいは改善提案などについて、問題を把握し解決策を探ってゆきます。

<主な実習>

・施工実験

木質構造などの構法による試験体の設計・試作・実験を通じて、これらの性能設計・把握技術を学びます。



図1 施工実験

・木質構造施工・施工管理課題実習
(標準課題)

木造住宅の基本計画から施工計画・施工及び施工管理を実施することで建築技術者としての管理技術を習得します。



図2 木質構造施工・
施工管理課題実習成果物例

・鉄筋コンクリート造施工・施工管理課題実習
(標準課題)

鉄筋コンクリート造建築物の基本計画から施工計画・施工及び施工管理を実施することで建築技術者として管理技術を習得します。



図3 鉄筋コンクリート造施工・
施工管理課題実習成果物例

・鋼構造施工・施工管理課題実習
(標準課題)

鉄骨造建築物の基本計画から施工計画・施工及び施工管理を実施することで建築技術者としての管理技術を習得します。



図4 鋼構造施工・施工管理課題実習
実習成果物例

・総合施工・施工管理課題実習(開発課題)

各課題実習及び企業実習において得られた施工及び施工管理上の課題に対して、創造的かつ実践的な解決手法を習得します。本実習は他大学での卒業研究に相当します。

開発課題実習例



図5 カテナリー曲線によるアーチ構造物の設計・施工(2018年度)



図6 休憩スペースにある構造物の屋根改修(2023年度)

<積算・コスト教育の取り組み>

建築施工システム技術科では、「施工積算実習」で2単位の授業を行っています。公益社団法人日本建築積算協会様から講師をお招きし、実務に即したご講義いただいております。

また、本校の特色として「①具体的なものづくりの課題を設定した課題学習」、「②各人がグループの中で専門性を発揮し共通の課題に取り組むワーキンググループ学習」、「③ものづくりの現場を想定した実学の融合を基本とした新しい教育システム」により、産業界で必要とされる生産現場等のリーダーとしての素養を持った人材を育成する教育システムとなっています。そのためカリキュラムの大半が実際に建築物を施工する実習中心であり、積算は重要な要素です。さらに卒業生の多くが総合建設業で施工管理業務に携わっていて、公益社団法人日本建築積算協会様に実施していただく、講義および積算士補取得の取り組みは学生の活躍の幅を大きく広げるものです。今後も建設業界内で活躍する人材育成に取り組んでまいります。

<キャンパス所在地・連絡先など>

学生教育のほかに、企業にお勤めの方向けの技能・技術研修（能力開発セミナー）を開催しております。学生への求人、社員教育など、お気軽にご相談ください。

ホームページ：<https://www3.jeed.go.jp/tochigi/college/>

住所：〒323-0813 栃木県小山市横倉 612-1

電話：学生教育・求人関係 0285-31-1722（学務課）

能力開発セミナー 0285-31-1733（援助計画課）

【アクセス】

JR宇都宮線、水戸線、両毛線、東北新幹線「小山駅」下車

- ・小山コミュニティバス おーバス「土塔平成通り線」

「小山駅東口」発「関東能開大正門」下車 徒歩1分

- ・小山コミュニティバス おーバス「大谷中央線」

「小山駅東口」発「関東能開大正門」下車 徒歩1分

- ・タクシー 約15分

